

平成21年5月22日

栽培環境を人工的に制御し、季節・天候に左右されずに野菜を安定生産

「完全制御型植物工場」を経済産業省別館ロビーに設置

経済産業省は、消費者、事業者、自治体関係者等への「植物工場」の普及・広報の一環として、本年5月26日（火）から、経済産業省庁舎別館ロビーに「完全制御型植物工場」のモデル施設を設置します。

このモデル施設を当省において広く紹介する機会を通じて、最先端技術による農業生産へのご理解を深めて頂ければ幸いです。

1. 経済産業省では、地域活性化戦略の一環として、農業の高度化を産業技術面から支援する『農商工連携』を推進し、各種支援策を進めております。（「新経済成長戦略の改訂とフォローアップ」（平成20年9月閣議決定））
2. その一環として、光・温湿度・培養液等の環境条件を人工的に制御し、季節・天候に関係なく自動的に連続生産を行う「植物工場」は、我が国の農産物供給の将来を担うものとして期待されています。
3. このたび、本年1月から3月までの期間に設置したモデル施設と異なる仕様の「完全制御型植物工場」を別館1階ロビー（中庭側）に設置します。

#### ◆「植物工場」の特徴

##### ①計画的・圧倒的な生産性

- ・自然条件の制約が少ないため、一定品質・一定量の安定供給が可能。
- ・環境制御により、葉菜類（レタス等）であれば20毛作程度が可能。
- ・多段栽培により、小スペースでも大量生産が可能。

##### ②高品質で安全・安心

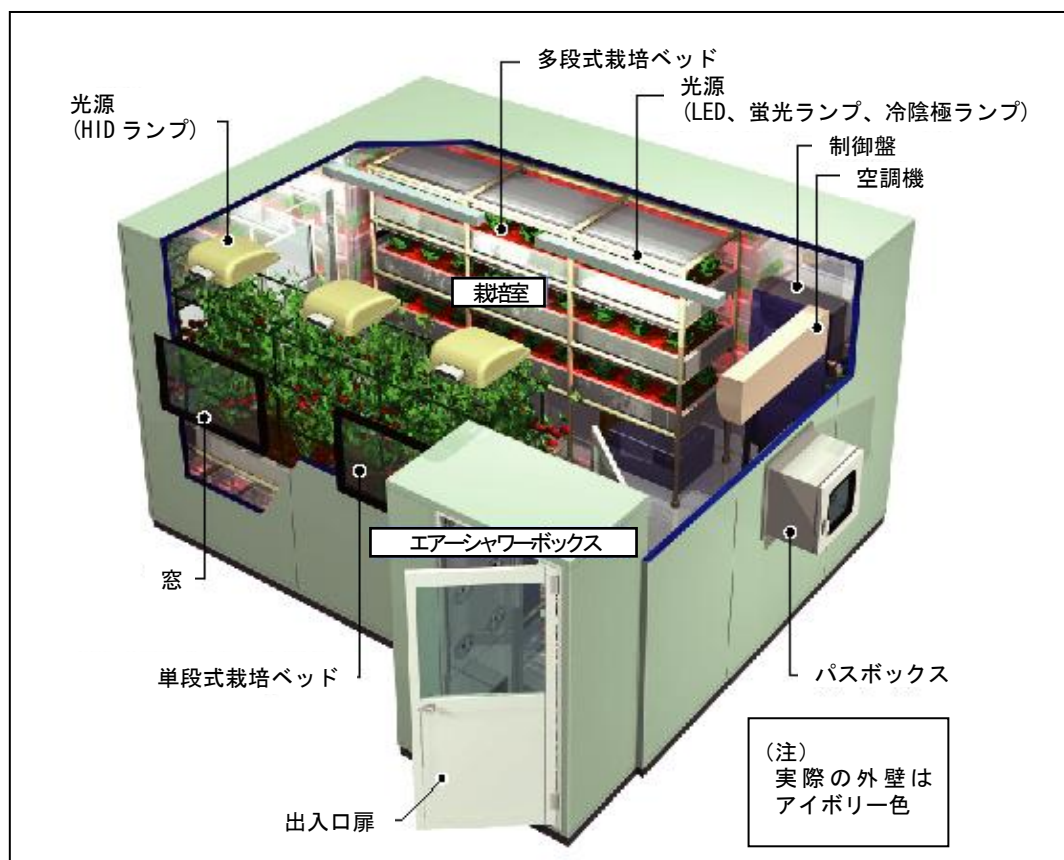
- ・農薬等は一切利用しない無農薬栽培の実現が可能。
- ・生産履歴の管理が容易であるため、トレーサビリティが向上。

その中でも「完全制御型植物工場」は、温湿度、光強度等を植物生産に最適な値に制御することが容易であり、また、完全密閉により害虫等の混入がなく無農薬栽培の実現が容易である。

◆施工業者

エスペックミック株式会社（愛知県丹羽郡大口町大御堂 1-233-1）

◆設置予定の「植物工場」のモデル施設のイメージ



※植栽は、成育段階や時期によりイメージ図と異なる場合があります。

◆トマト、レタス、ハーブ等を栽培する予定です。

【お問い合わせ先】

(植物工場全般に関すること)

地域経済産業グループ地域経済産業政策課長 くまが熊谷  
担当 筑紫、小林

電話：03-3501-1697 (直通)

(デモンストレーション施設に関すること)

地域経済産業グループ産業施設課長 野口  
担当 久本

電話：03-3501-1677 (直通)